

館長コラム(48) 早春に満開のアセビ

クマノザクラ *Cerasus kumanoensis* が満開になる頃にアセビ(馬酔木) *Pieris japonica* も満開になります(図1)。アセビはツツジ科の植物で宮城県以南の本州、四国、九州に分布します。奄美にはアマミアセビ *Pieris amamioshimensis*、沖縄にはリュウキュウアセビ *Pieris koidzumiana* という別種が分布しますが園芸用に採取されて野生では絶滅状態にあるようです(Wikipediaより)。和歌山県では海岸林から県内最高峰の龍神岳や護摩壇山の頂上付近まで分布します。長野でも乾燥した森の低木としてふつうに見られます。花は白色で壺状をしています。この花が枝先に房状に垂れ下がります(図2)。花が付かない枝先には赤色の新葉が展開します(図3)。

アセビは虫媒花

アセビは昆虫によって受粉される虫媒花と考えられます。満開の時期は昆虫が多い時期ではありませんが花も少ないのでバランスがとれているのかもしれませんが。花には雄しべが10本あり、1本に2個の葯がついています。葯には突起があって、虫がこれに触れると花粉が放出されて虫の体に付着して受粉につながるようです。ハナムグリハネカクシという小さな昆虫が媒介者として知られています。秋に直径5mmぐらいの果実をつけます。

アセビは有毒植物

アセビの葉や果実などにはグラヤノトキシンという有毒物質が含まれます。この毒は細胞膜のナトリウムイオンチャンネルに結合して骨格筋や心筋に異常を起こします。この毒は紀伊半島にも分布するツツジ科のネジキやイワナンテンにも含まれます。外国ではツツジ科植物の花から集められた花粉や蜂蜜にこの毒が含まれ中毒を起こして問題になることもあるらしいです。草食動物のニホンジカやカモシカは有毒のアセビを食べません。これらの草食動物が多い地域では食害されないアセビが多い森となることがあります。アセビは大木にはなりませんが小型の個体でも100歳を越えていることも多いようです。虫にも食害されにくいために庭木として植栽されることもあります。盆栽木としてもよく見かけます。



長野公民館だより

館長 米本 憲市 主事 山本 暹

事務所:田辺市中三極805番地 三極コミュニティセンター内

TEL:(0739)34-0022

FAX:(0739)33-0836



令和8年度を迎えて 新年度の御挨拶

満開の桜の中、令和8年度が始まりました(写真は昨年3月末のひるね茶屋の桜です)。世界に目を向けると、2月末には中東で新たに始まった戦争によってイランの小学校が誤爆され百数十名の女子児童等が犠牲になりました。また長崎県佐世保を拠点とする米国強襲揚陸艦トリポリは沖縄のキャンプハンセンの第31海兵遠征部隊を乗せて中東に派遣されるようです。日本でも3.11から15年過ぎた現在も2万数千人の人々が避難中です。世界情勢は不安定ですが公民館活動を通してほんのちょっとだけでも世界平和のためにも貢献したいと考えました。また、平和だからこそ公民館活動ができるとも考えています。

昨年度は盆ソフトボールやモルックが猛暑などの影響により中止になりました。また、秋の作品展は小学校でのインフルエンザ流行による学校閉鎖のため延期になりましたが何とか実施することができました。冬の熊野古道ハイキングは参加者少数のため実施見送りとなりました。一方、「ふるさと長野ポスターコンクール」にて新たに「公民館長賞」を設けて頂き、表彰式にも参加いたしました。

今年度も公民館運営委員会、体育委員会、文化委員会に審議をしていただきて行事を計画し実施していきたいと思いますので、皆さまのご参加をお待ちしています。

館長 米本憲市



主な掲載内容	ページ
・令和8年度を迎えて 新年度のご挨拶	1
・地域整備作業 へのお礼	1
・長野小学校の 取組について	2
・ふるさと長野 ポスターコンクール 受賞作品のご紹介 郷明会より	3
・館長コラム(48) 早春に満開のアセビ	4

移動図書館
(4月の予定)

②4月16日(木)
9時30分~10時10分
長野東原

長野館区人口統計

人口: 576 人
前月比: -1 人
世帯数: 318 世帯
前月比: +1 世帯

地域整備作業へのお礼

2月22日(日)、学校横の河川にて令和7年度最後の草刈りが行われました。地域の皆さま、学校の先生方の手によって、河川周辺は大変きれいに整備されました。

年間通して整備作業にご協力いただきありがとうございます。本年度もよろしくお願い申し上げます。



◆ 長野小学校の取組について ◆

3月2日(月)、長野小学校にて行われた『ふるさとをきれいに』(地域清掃活動)にお邪魔しました。学校周辺2チーム・伏菟野方面1チームに別れ、道端に捨てられているゴミを回収していきました。

昨年度に実施した際には、古い家電などの大きなゴミを回収する場面もありましたが、今年度はそのような大きな物は見られず、空き缶や瓶、ビニール、吸い殻などの小さなごみを中心に拾う活動となりました。1年の間、地域がきれいに保たれていたことの表れですね。

児童たちは声を掛け合いながら丁寧にゴミを拾い集め、活動を通してふるさと長野を大切にすることを育むことができたのではないのでしょうか。



3月23日(月)、卒業式が行われ、大島さん上地さん小谷さんの3名が新たな一歩を踏み出しました。

校長の嶺口先生からは一人一人へ式辞の言葉が贈られ、育友会会長の上地さんからは祝辞が送られました。在校生からの送る言葉では、6年生が学校生活を支えてくれたことや、たくさん一緒に遊んでくれたことへの感謝が述べられました。また、自分たちもそんな立派な最上級生を目指していく決意が語られ、最後に中学校でも頑張ってもらいたいと3名へエールが送られました。

別れの言葉では、6年間の生活を振り返り、最高学年として取り組んだ運動会では、一人一人が楽しめるよう全員で協力し、悔いのないものにできたことが語られました。式の最後には、在校生や教職員に見送られながら、卒業生3名は学び舎を後にしました。それぞれの未来へ向かって踏み出す姿に、大きな拍手が送られました。



◆ ふるさと長野ポスターコンクール ◆
◆ 受賞作品のご紹介 郷明会 ◆

前年度に複数回掲載しておりました郷明会主催『ふるさと長野ポスターコンクール』についてお知らせします。

予定では3月末までとしていた締切を1ヵ月早め、3月13日(金)に審査会が行われました。審査会はひかりの館にて行われ、出品された作品から、郷明会会長賞、公民館館長賞、ホテル部会長賞、与一研究部会長賞、長野郷明会特別賞の5つの賞が選ばれました。

続く16日(月)には小学校で授賞式を行いました、その様子も写真でご紹介します。児童には図書券が、一般の方には商品券が入賞賞品として贈られました。受賞された皆さま、おめでとうございます。

また、本コンクールにご応募いただいた皆さま、素晴らしい作品をありがとうございました。

受賞作品は1年間ひかりの館にて展示予定です、機会があれば直接ご覧ください。

なお、本コンクールは来年度も引き続き実施予定です。次回も多くの皆さまにご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

